

## かんしやの気もち

山やま中なか 花はな恵え

わたしの学校の持ち物には、名前が書いてあります。また、名前の「花え」から、「花」という言葉をとってししゅうがしてあることもあります。わたしの持ち物がまいごにならないように、お母さんが夜のうちにししゅうをしておいてくれます。

上ばきの足のこうのところや、体そう服のズボンの後ろポケットのところにも「花」のししゅうがしてあります。図書カード入れは、赤いフェルトで手作りしてくれて、白い糸で、「花」の名前をししゅうしてくれました。

かわいいのでとても気に入っています。大切に使っています。友だちが、ししゅうを見て

「花えちゃんのものってすぐわかる。」

と言ってくれます。お母さんから、

「はい。」

とわたししてもらうと、とてもうれしい気もちになります。

「ありがとう。」

と言ってかばんに入れます。

学校で、ししゅうをしてもらった体そう服を着ると、体いくをがんばろうと思います。

お母さんは、毎日わたしたち家族のために、ごはんを作ったり、せんとくをしてくれています。わたしが学校に行っている間、仕事にも行っています。とてもいそがしくしています。それなのに、わたしたちがねた後に、ししゅうをしてくれています。わたしのために、ししゅうをしてくれて、とてもうれしいし、大切に使おうと思います。

お母さんは、

「こうやって、名前をつけておくと、持ち物をなくさないよ。」と、言っています。お母さんの言うとおりでわたしは、ようち園の時から、持ち物をなくしたことがあります。ハンカチを落とした時も、名前が書いてあったので、わたしのところにもどってきました。あきらめていたのに、もどってきてびっくりしました。

これからも、自分の持ち物には名前を書いて、大事に使おうと思います。

そして、ししゅうだけでなく、いつもわたしたち子どものために、はたらいてくれているお母さんに、

「ありがとう。」

とかんしやの気もちをもちたいと思います。